第６学年　国語科指導案

山陽小野田市立有帆小学校
教　諭　今本　美智子

１．単元名　　賢治ワールドへ行こう
「やまなし」「イーハトーヴの夢」（光村図書　６年下）

２．指導目標

〇宮沢賢治の書いた様々な作品を読むことを通して、宮沢賢治の作品や生き方のすばらしさに触れることができる。

〇様々な比喩表現や色彩表現のよさを味わい、イメージ豊かに読むことができる。

〇「五月」と「十二月」の対比表現に気付き、「やまなし」にこめられた作者の思いを読み取ることができる。

３．指導計画　（　全１５時間　）

第一次　　作者の生き方・考え方を知る。（２時間）

・「イーハトーヴの夢」を読み取る。

第二次　　読みの方法を「知る」段階（３時間）

・「読み」の方法　６の観点で「注文の多い料理店」をみんなで読んでいく。

第三次　　読みの方法を「使う」段階（８時間）

⑴一人読み（２時間）

・音読、意味調べ

・好きな表現や心に残った表現（なぜ、好きなのか等も）

・疑問　　等

⑵内容を読み込んでいく。（６時間）

・構造を読み取る。（登場人物・場面・視点等）・・・１時間

・描写を読み取る。・・・１時間

・表現技法（対比、類比表現）を読み取る。・・・２時間

・主題を読み取る。　・・・２時間（本時　１／２）

第四次　　読みの方法を「広げる」段階　（２時間）

「やまなし」の読み方を生かして、賢治の書いた他の作品を、第一・二次で学んだ読みの観点に沿って読み、おすすめの１冊を紹介しあう。（「感想」・「登場人物・設定」・「一文で表わす」・「作品のよさ、楽しさ」　等の観点）

国 語 科 学 習 指 導 案

1 教材名　　やまなし　（第三次　本時 7／8 ）

2 本時の主眼　「五月」と「十二月」をそれぞれ一文で表わす活動を通して、「かわせみ」と「やまなし」に込められた賢治の思いを読み取り、作品の主題に気付くことができる。

3 学 習 過 程

過程	学習活動・内容	教師の発問や指示・児童のつぶやき	教 師 の 支 援
つかむ／考える／学び合う／広げる・深める／振り返る	①今までの学習を振り返る ・「五月」と「十二月」の対比 ②本時の課題を確認する。 「五月」と「十二月」をそれぞれ一文で表現してみよう。 ③〈個による一人学び〉 ・○○が□□によって △△を知る話 **④〈班での学び合い〉** 班で意見を出し合う。 ・友達の意見と自分の意見を比べる。 ⑤〈全体での学び合い〉 ・自分の考えを発表する。（五月） ・自然のきびしさ、こわさ ・死の恐怖、弱肉強食 ⑥「十二月」を一文で表す。（十二月） ・自然のやさしさ、恵 ・生への期待感、共生 ⑦次時の学習を知る。 ⑧国語日記を書く。	○「五月」と「十二月」の対比について前の時間学習しましたね。この中で、どの対比がこの作品の中で一番重要でしたか。 ・「かわせみ」と「やまなし」だったな ○五月を一文で表すと、どうなるでしょうか。 ・えーっ、一文で？ ・「注文の多い料理店」でもやったぞ。 ・かわせみが入ってきて、何を知ったのかな。 ○友達の一文を聞いて、自分の納得のいく一文を作ろう。 ・「かわせみ」にこめられた思いがよく分かる表現だ。 ○自分のお気に入りの一文を発表しよう。 ・「かわせみ」は、かにの兄弟にとって、死というものを教えたので～。 ○十二月を一文で表わしましょう。今度は、自分で考えた一文を大判用紙に書きましょう。 ・五月の「かわせみ」の時と比べると～。 ○「かわせみ」と「やまなし」の進入が重要な出来事なのに、なぜ題名は「やまなし」にしたのか、「やまなし」にこめられた思いを考えよう。 ○国語日記を書こう。	①今までの学習の流れが分かるように、学習した足跡を掲示しておく。 ②掲示をもとに、「かわせみ」と「やまなし」の対比について全員で確認する。 ③一文に表すときの基本文型をおさえ○○の部分を確認する。 ④二匹のかにがとって五月での重要な出来事は何かをおさえ△△の部分を確認する。 ⑤「やまなし」を作った時の賢治の状況を想起させる。 ⑥班で意見を出し合い、それぞれについて、どう思うか意見を交換し、自分の一番いいと思う一文を書くようにする。 ⑦一文を大判用紙に書き、「かわせみ」にこめられた思いを発表させる。 ⑧個人で考えた後、一文を大判用紙に書き、黒板に貼るようにする。 ⑨一文が書けない児童には、五月との対比で考えるよう促す。 ⑩一文を作った思いを全体の場で発表するようにする。 ⑪次時の学習課題を知ることで、学習の見通しを持つようにさせる。 ⑫学習して、分かったこと・感想をまとめる。時間があれば、ポイントを押さえて書いている児童の国語日記を発表させる。

資　料

「読み」の観点

〇作品の構造を理解する。　①人物設定（登場人物・中心人物）
②場面設定（いつ・場所）　視点

〇作品のあらすじを押さえる。　③一文で表現
△△が　〇〇によって　□□なる（する）話
中心人物　出来事　変容・変化

〇作品のよさ・楽しさを味わう。④描写（情景・心理・人物）
⑤表現技法（象徴・対比など）

〇作品の主張をまとめる。　⑥主題

＊その作品に対する自分の思いをまとめる。（感想を書く・発表し合う）

＊10 月の読書は　「宮沢賢治ワールドに行こう」
市立図書館で 50 冊近く宮沢賢治の童話を貸し出していただいた。〈一人平均 11 冊読破〉

＊家庭学習プリントにより、学習の「予習」をして、授業に臨むようにする。

「やまなし」に出てくる色彩表現を書き出そう。

	色
	イメージ

「五月」と「十二月」のちがいを見つけよう。

	五月
	十二月